

建材・住宅設備の 価格高騰・納期遅延の影響に関する 工務店アンケート調査

実施期間 2022年3月11日（金）～2022年4月15日（金）

Ver.2.0 2022年4月26日

 **全国建設労働組合総連合（全建総連）**
National Federation of Construction Workers' Unions

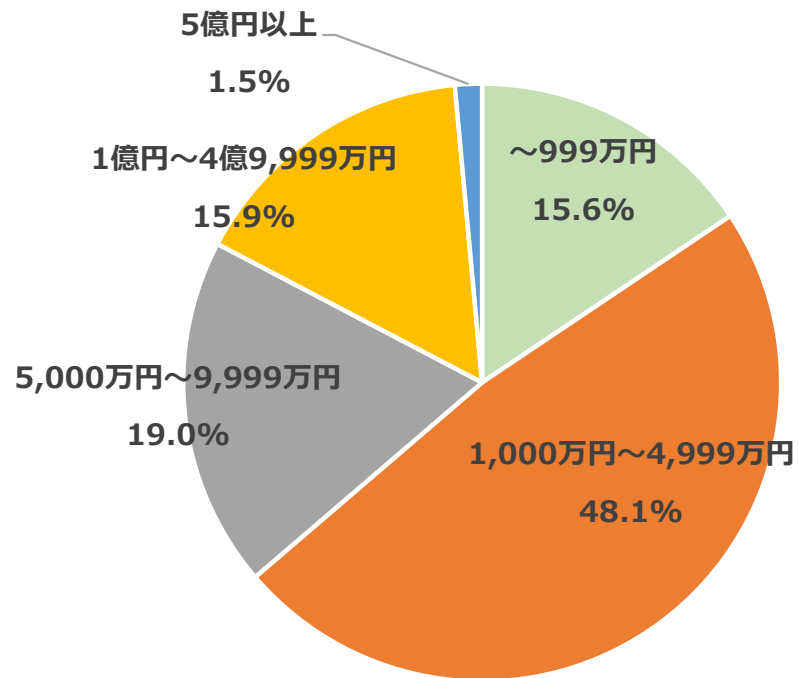
1. 回答者情報

緊急アンケートに35都道府県・1,097社回答 従業員4人以下86.8%

(1) 回答のあった工務店の所在地

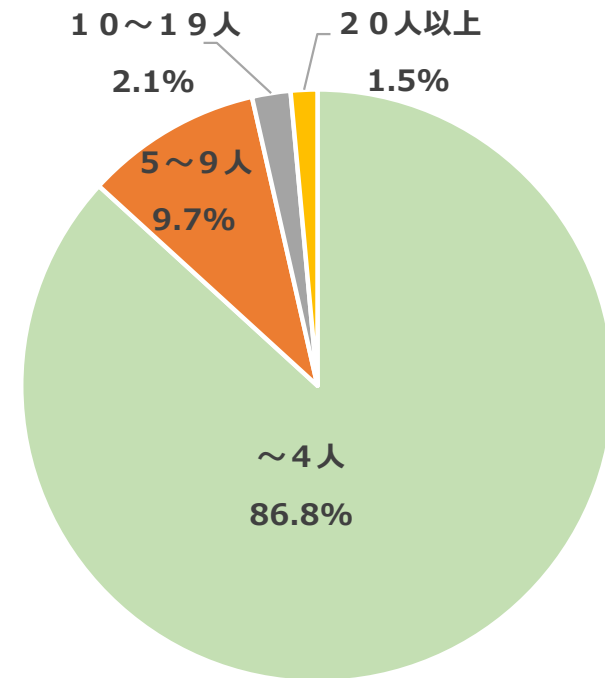
北海道・東北104社、関東410社、中部98社、近畿230社、中国128社、四国33社、九州94社

(2) 年間売上高



年間売上高	有効回答数	割合
~999万円	171	15.6%
1,000万円~4,999万円	528	48.1%
5,000万円~9,999万円	208	19.0%
1億円~4億9,999万円	174	15.9%
5億円以上	16	1.5%
合計	1,097	100.0%

(3) 従業員数（雇用者）

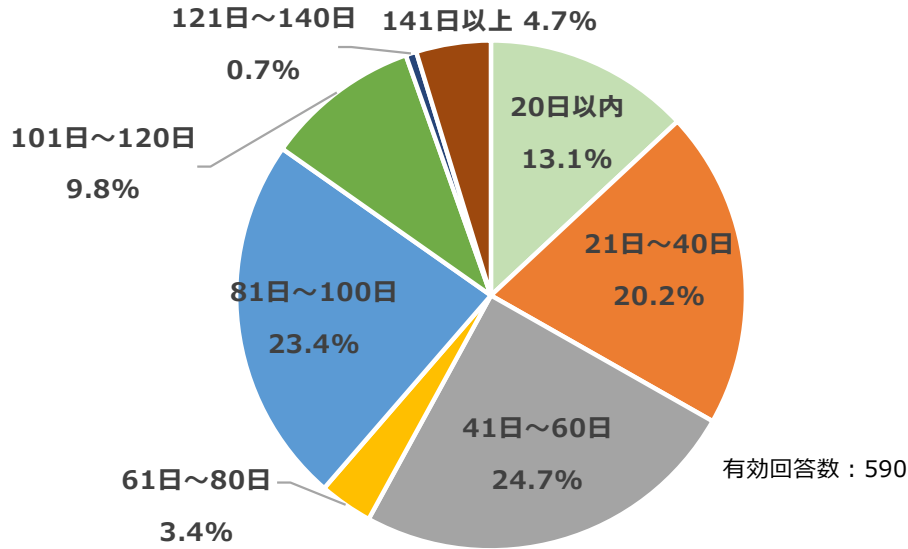


従業員数（※雇用者）	有効回答数	割合
~4人	952	86.8%
5~9人	106	9.7%
10~19人	23	2.1%
20人以上	16	1.5%
合計	1,097	100.0%

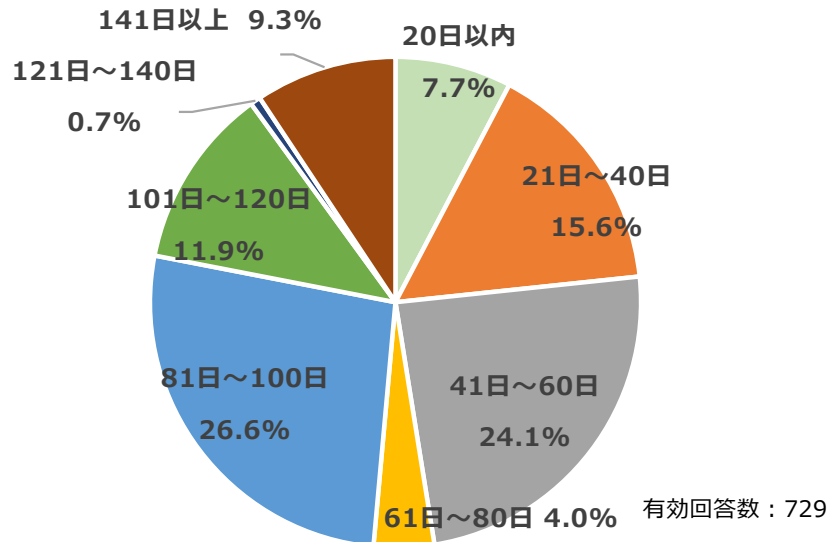
2. 住宅設備の納期の影響

(1) 給湯設備の納期の状況

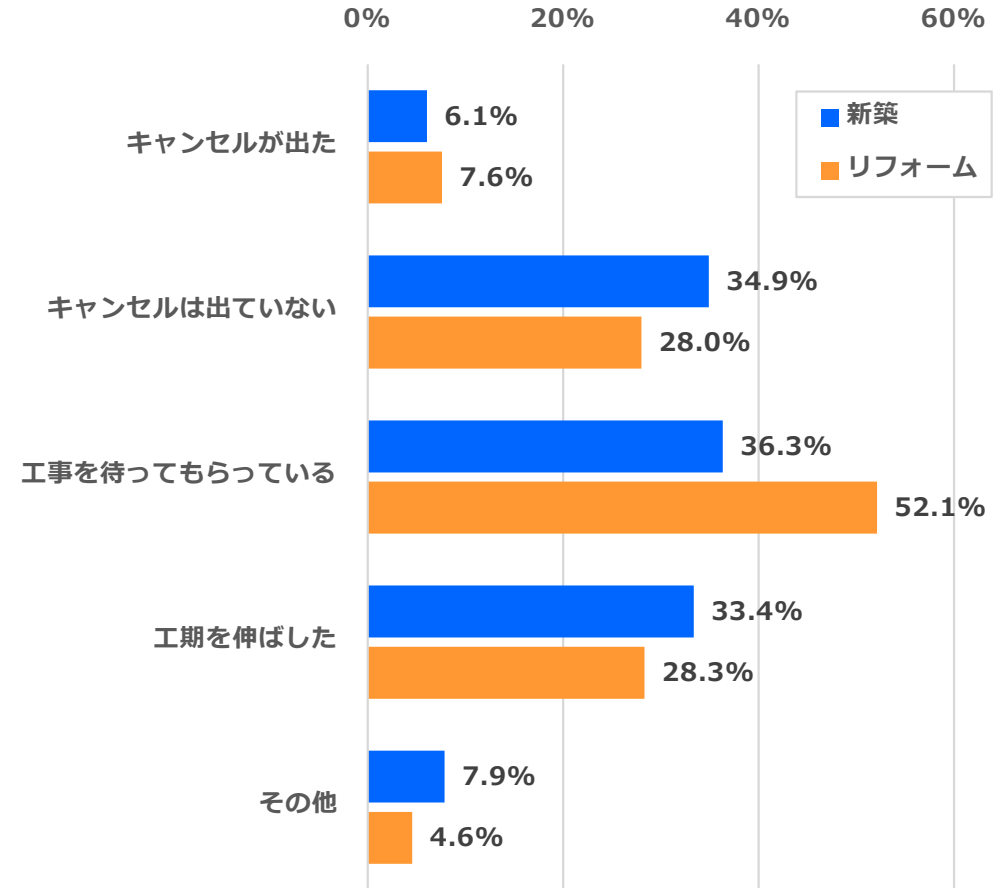
① 3月に納品された給湯設備はいつ発注したのか
 納品までの 平均日数：66.7日 最大日数：240日



② これまでで発注から納品まで最大でかかった日数
 納品までの 平均日数：77.8日 最大日数：270日



(2) 給湯設備や衛生設備の納品遅延による 新築・リフォームの受注工事への影響

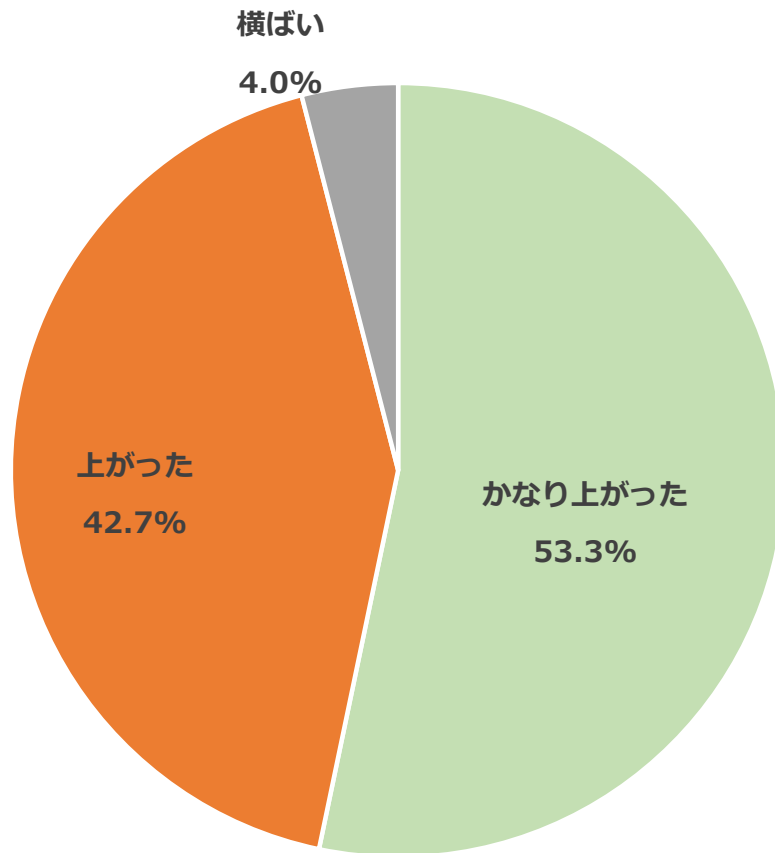


有効回答数：新築…776 リフォーム…921

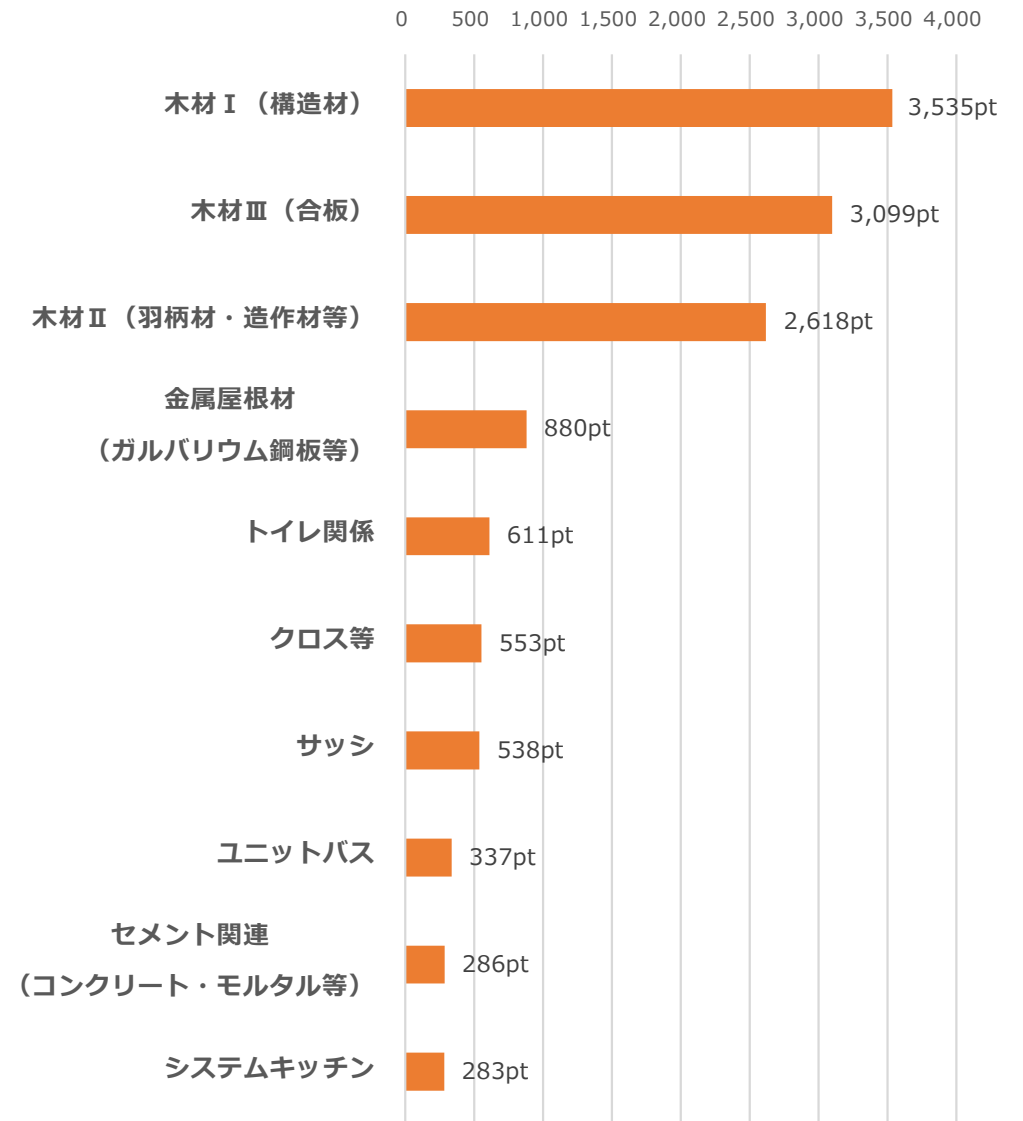
3. 建材・住宅設備の価格高騰の影響 (2021年3月との比較)

(1) 工事原価の状況「かなり上がった」53.3%

(2) 工事原価上昇に影響している建材・住宅設備



(1) 工事原価の状況	有効回答数	割合
かなり上がった	544	53.3%
上がった	436	42.7%
横ばい	41	4.0%
合計	1,021	100.0%



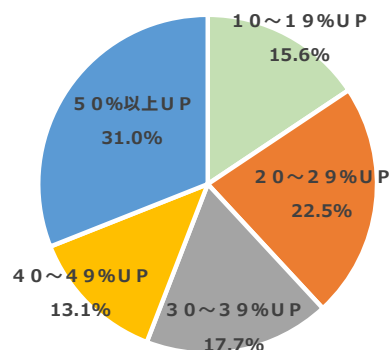
ポイント算出方法-原価上昇に影響の高い順位の回答数×各順位のポイント数 (1位 5pt、2位 4pt、3位 3pt、4位 2pt、5位 1pt)

3. 建材・住宅設備の価格高騰の影響 (2021年3月との比較)

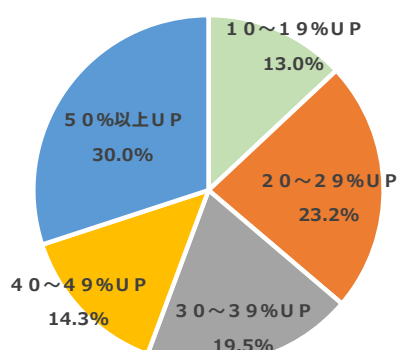
木材の値上がり率大きく上位を独占。50%以上の値上がり回答が最多

(3) 工事原価上昇に影響している建材、住宅設備の上位10品目の値上がり率

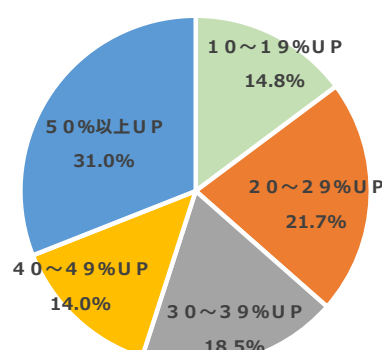
1位 木材Ⅰ
(構造材)



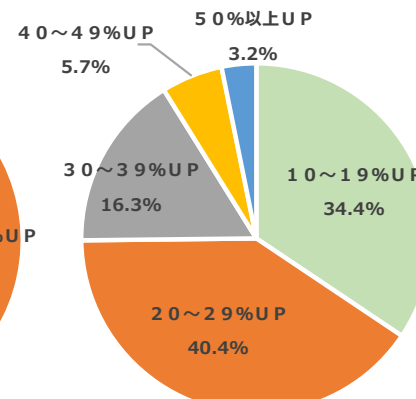
2位 木材Ⅲ
(合板)



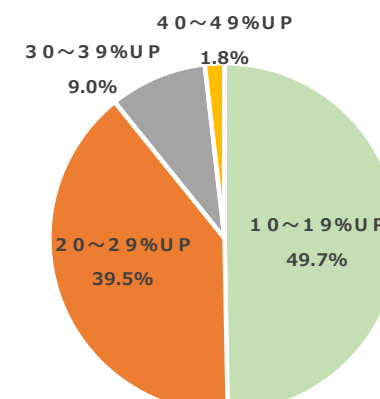
3位 木材Ⅱ
(羽柄材・造作材等)



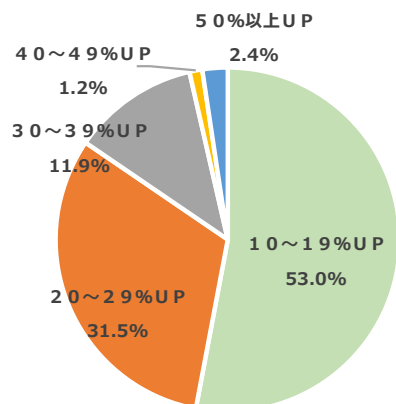
4位 金属屋根材
(ガルバリウム鋼板等)



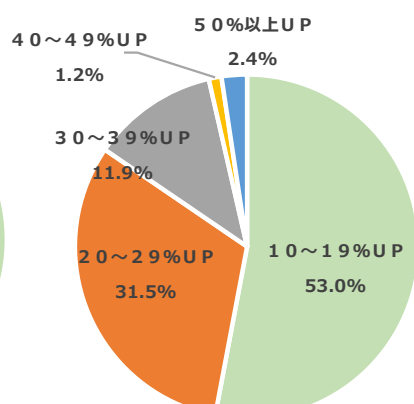
5位 トイレ関係



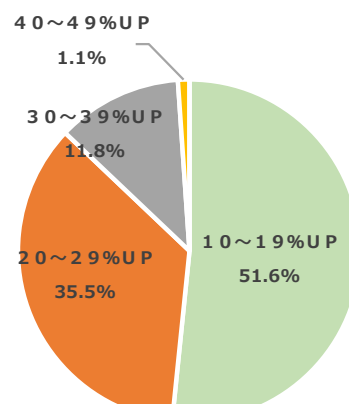
6位 クロス等



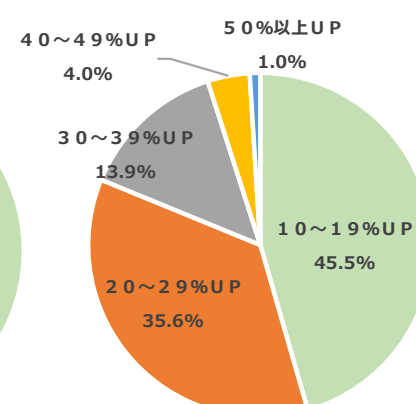
7位 サッシ



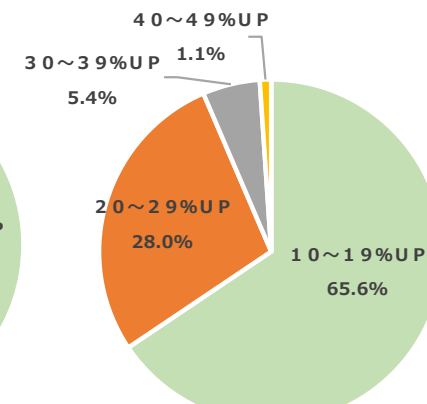
8位 ユニットバス



9位 セメント関連
(コンクリート・モルタル等)

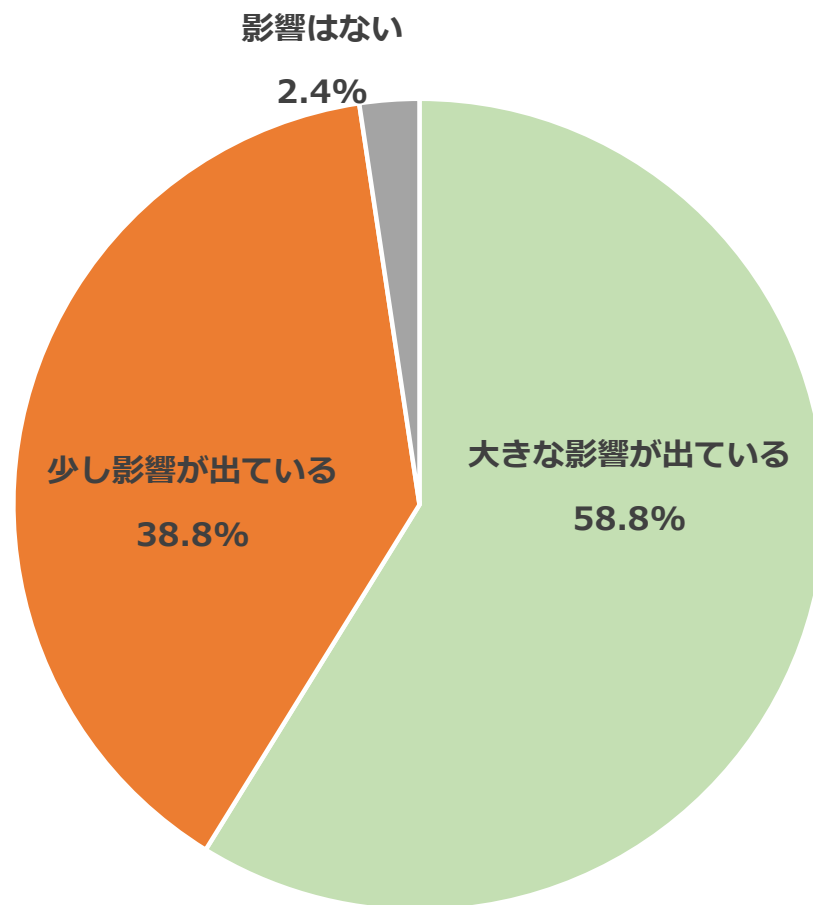


10位 システムキッチン



4. 見積価格・工事費への影響

(1) お客様に提示する見積価格への影響 「大きな影響が出ている」 58.8%の回答

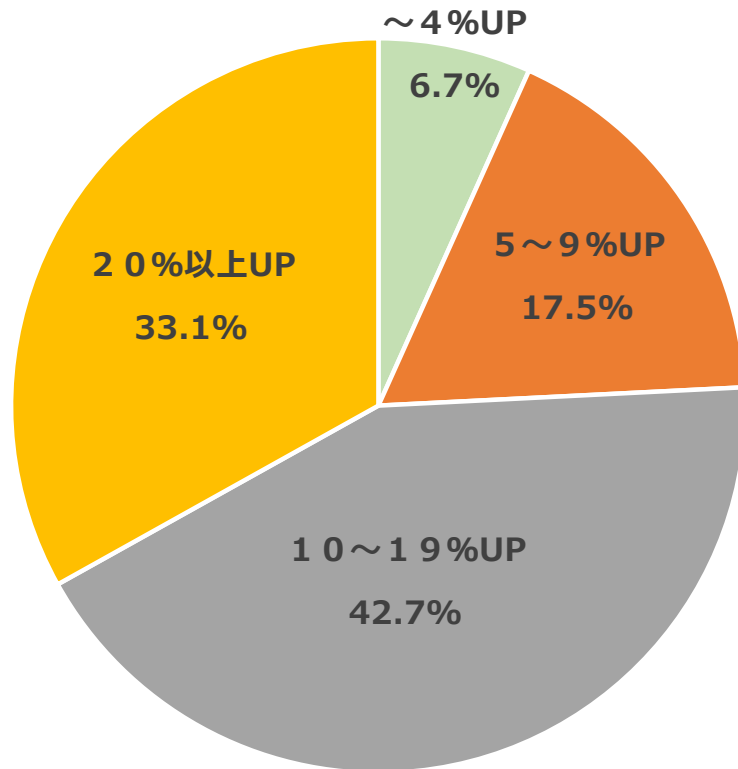


(1) お客様に提示する見積価格への影響	有効回答数	割合
大きな影響が出ている	620	58.8%
少し影響が出ている	409	38.8%
影響はない	25	2.4%
合計	1,054	100.0%

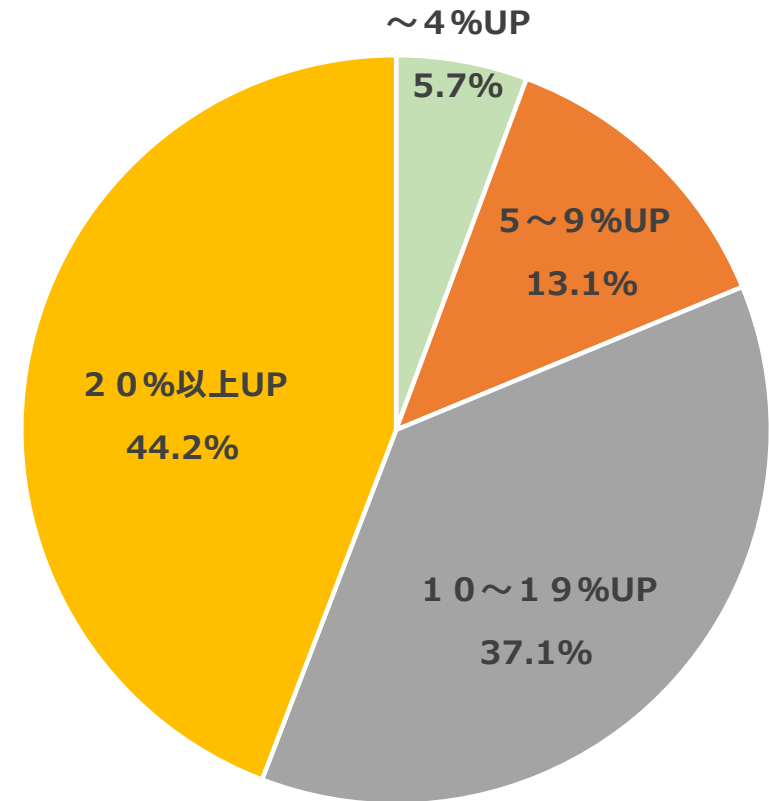
4. 見積価格・工事費への影響

(2) 影響の規模 (2021年3月との比較) リフォーム・新築とも大幅な価格上昇

①リフォーム－工事費に対しての値上がり率



②新築－工事費に対しての値上がり率

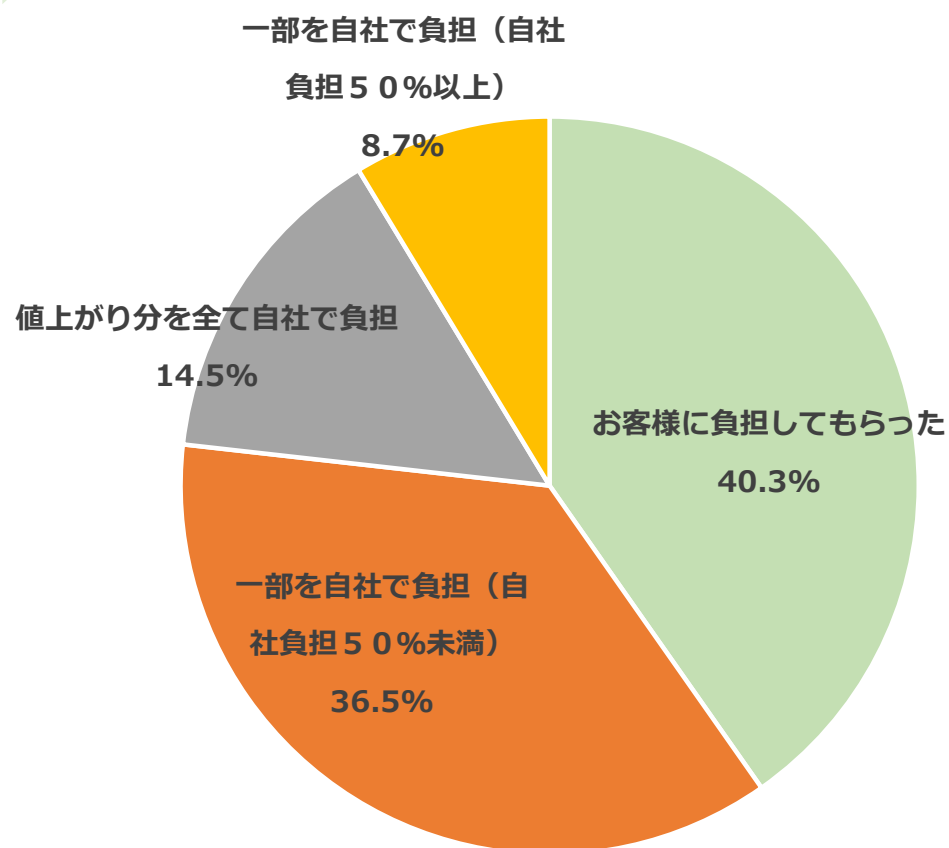


①リフォーム	工事費に対しての値上がり率	有効回答数	割合
	～4%	65	6.7%
	5～9%	169	17.5%
	10～19%	413	42.7%
	20%以上	320	33.1%
	合計	967	100.0%

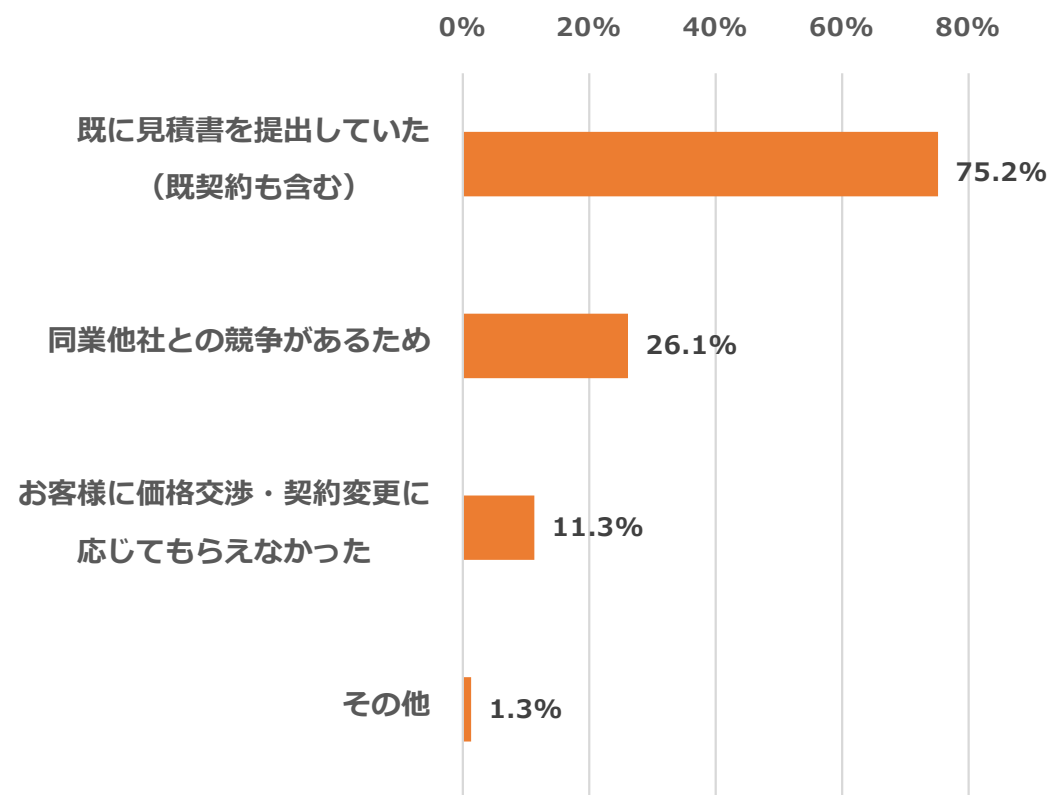
②新築	工事費に対しての値上がり率	有効回答数	割合
	～4%	35	5.7%
	5～9%	81	13.1%
	10～19%	229	37.1%
	20%以上	273	44.2%
	合計	618	100.0%

4. 見積価格・工事費への影響

(3) 値上がり分のお客様への価格転嫁の状況



(4) 価格転嫁できなかった理由

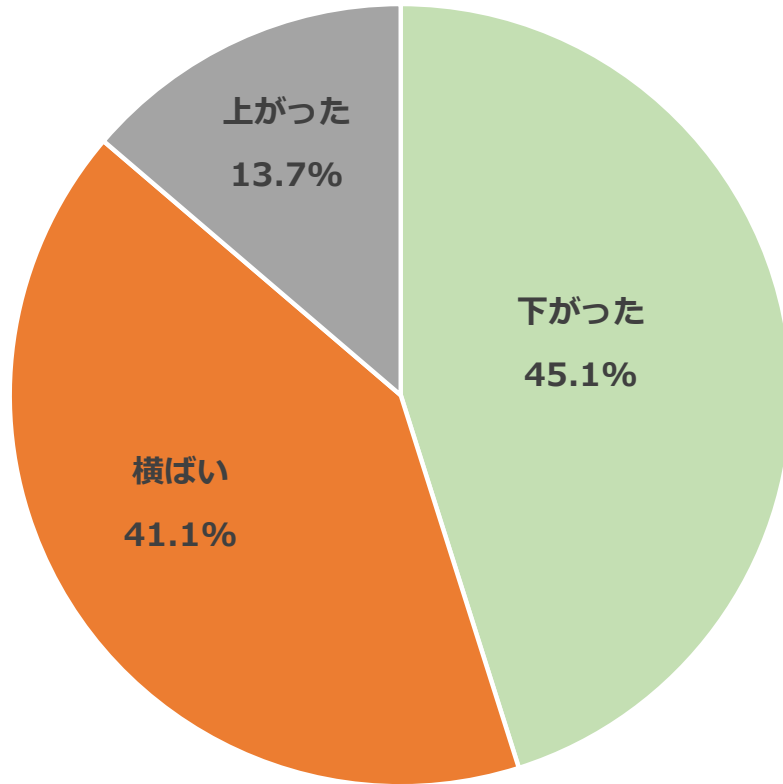


(3) 値上がり分のお客様への価格転嫁の状況	有効回答数	割合
お客様に負担してもらった	418	40.3%
一部を自社で負担 (自社負担50%未満)	379	36.5%
値上がり分を全て自社で負担	151	14.5%
一部を自社で負担 (自社負担50%以上)	90	8.7%
合計	1,038	100.0%

(4) 価格転嫁できなかった理由 ※自社負担があると回答した事業者のみ	有効回答数 (複数回答)	割合
既に見積書を提出していた (既契約も含む)	466	75.2%
同業他社との競争があるため	162	26.1%
お客様に価格交渉・契約変更に応じてもらえなかった	70	11.3%
その他	8	1.3%
合計	620	100.0%

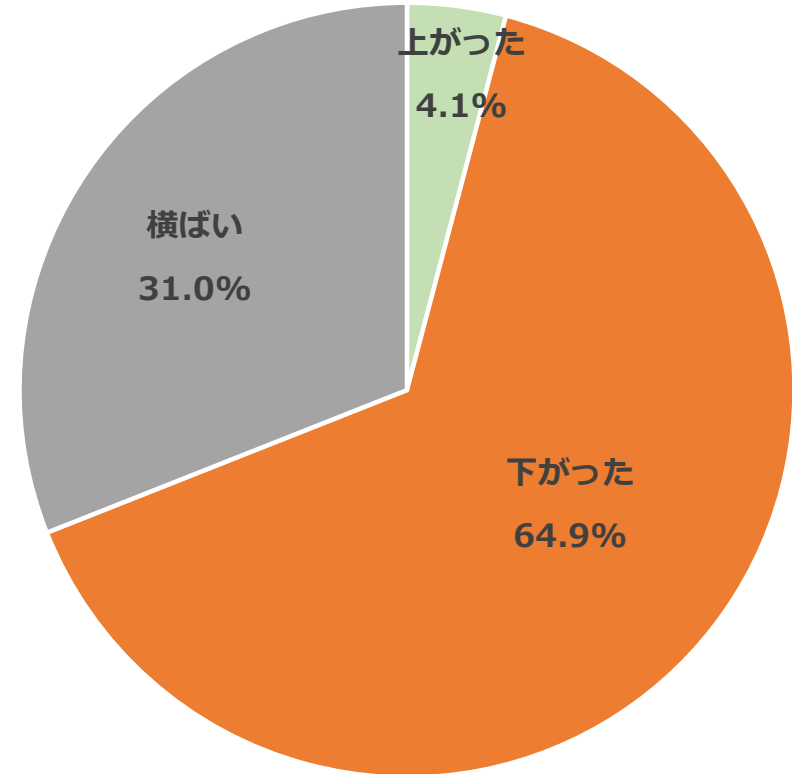
5. 経営への影響

(1) 売上高への影響 「下がった」 45.1%



(1) 売上高への影響 (2021年の売上高)	有効回答数	割合
下がった	476	45.1%
横ばい	434	41.1%
上がった	145	13.7%
合計	1,055	100.0%

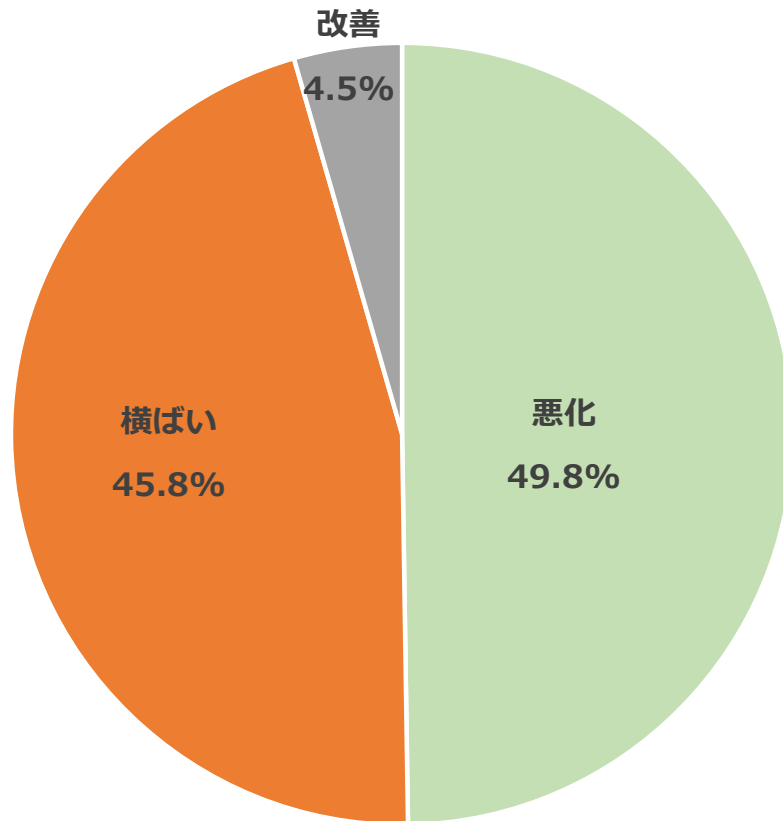
(2) 利益率への影響



(2) 利益率への影響 (2021年の利益率)	有効回答数	割合
下がった	678	64.9%
横ばい	324	31.0%
上がった	43	4.1%
合計	1,045	100.0%

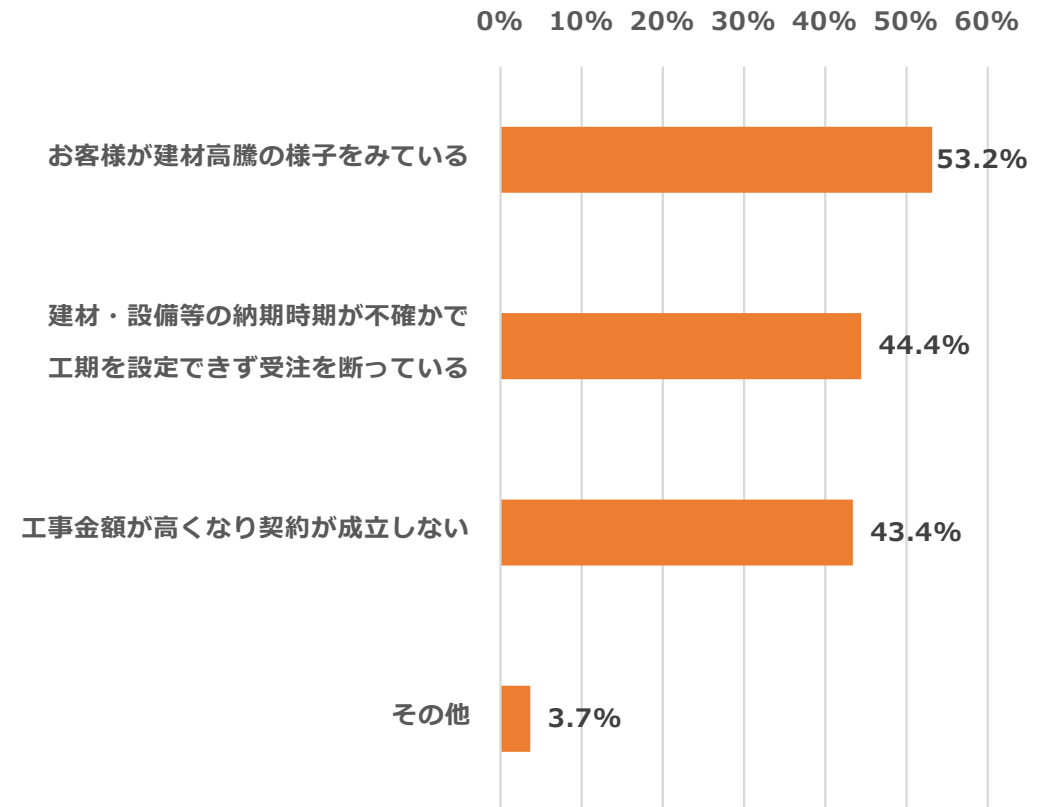
5. 経営への影響

(3) 受注への影響 「悪化」 49.8%



(3) 受注への影響 (2021年3月との比較)	有効回答数	割合
悪化	513	49.8%
横ばい	472	45.8%
改善	46	4.5%
合計	1,031	100.0%

(4) 悪化の理由

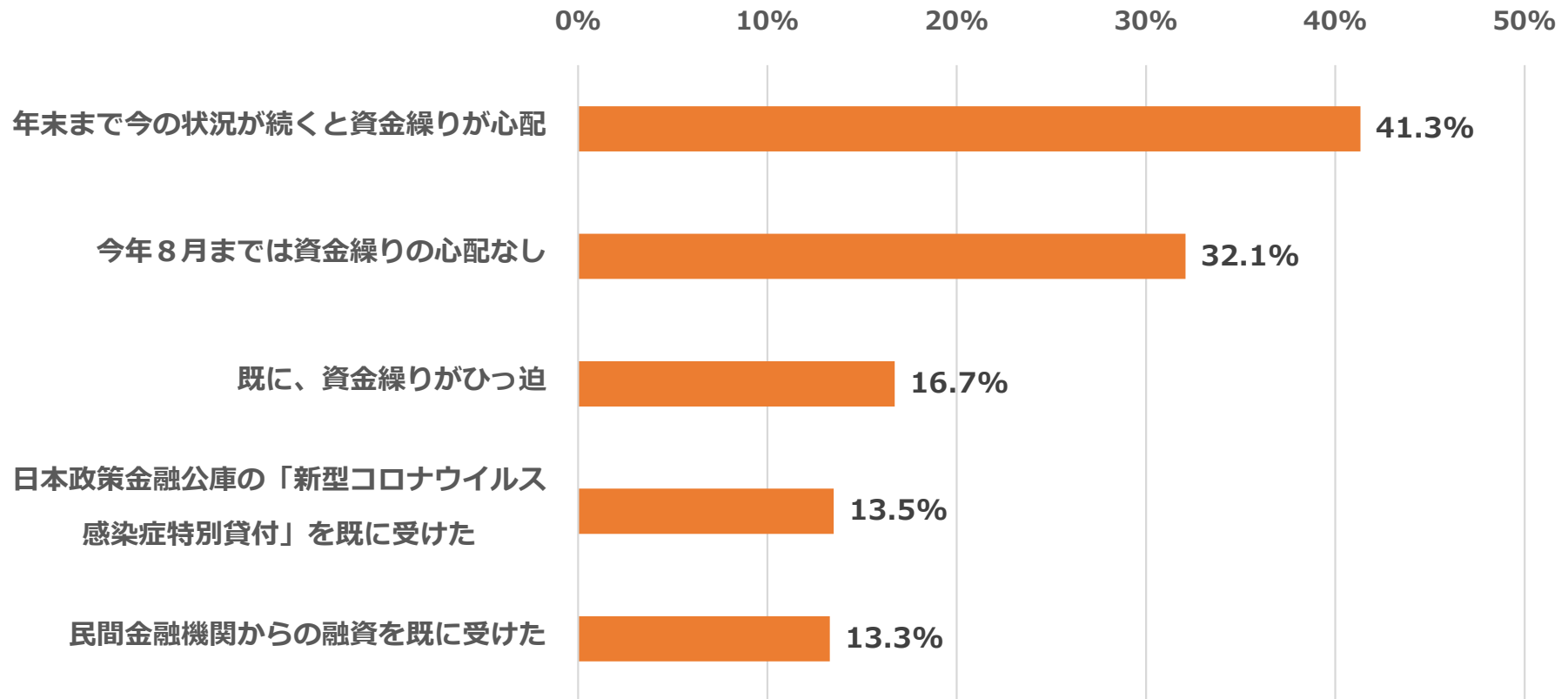


(4) 悪化の理由 ※「受注への影響」で「悪化」と回答した事業者	有効回答数 (複数回答)	割合
お客様が建材高騰の様子をみている	261	53.2%
建材・設備等の納期時期が不確かです工期を設定できず受注を断っている	218	44.4%
工事金額が高くなり契約が成立しない	213	43.4%
その他	18	3.7%
合計	491	100.0%

5. 経営への影響

既に融資を受けている仲間も多数。高まる資金繰りへの不安。

(5) 資金繰りへの影響

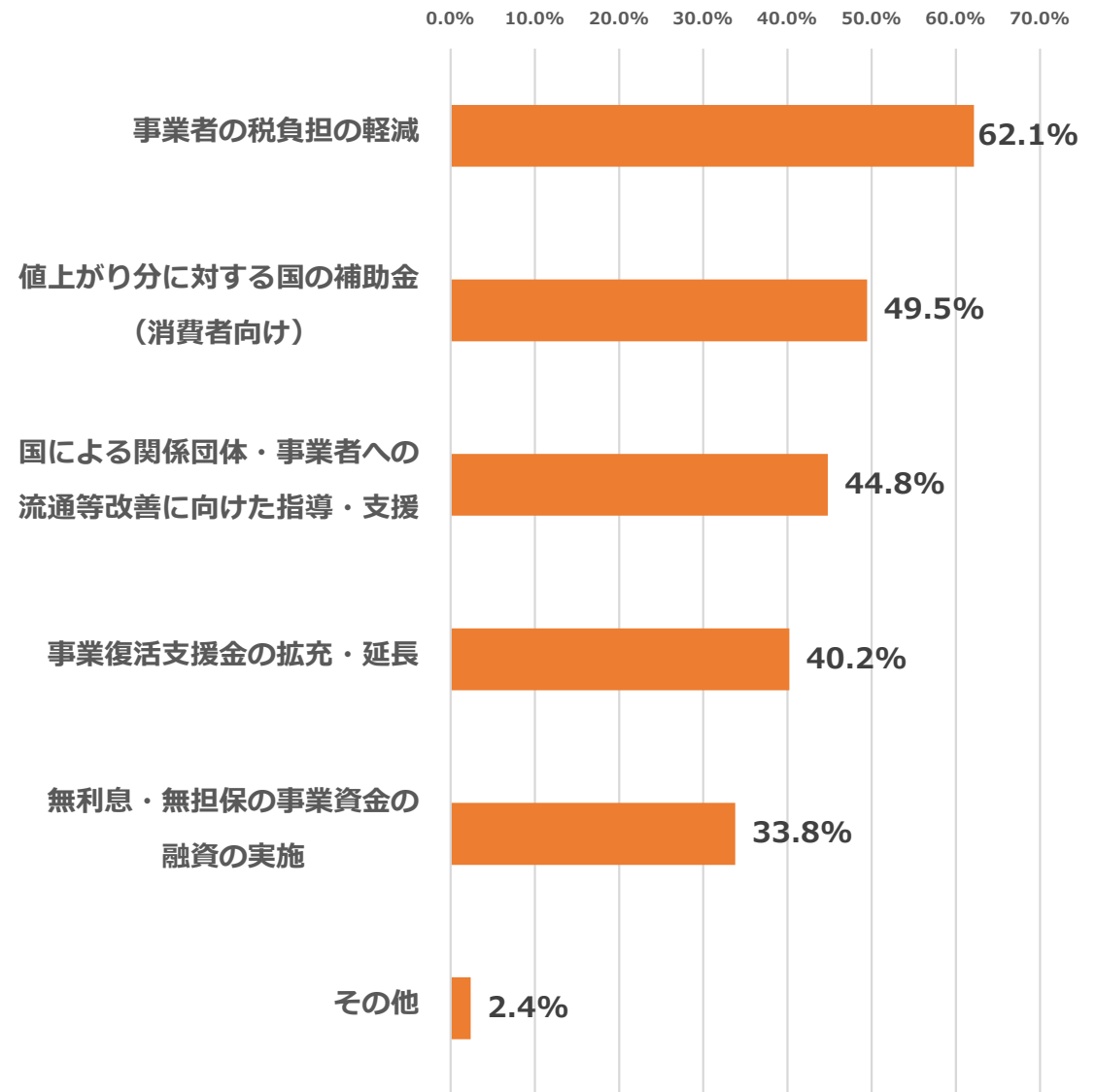


(5) 資金繰りへの影響	有効回答数 (複数回答)	割合
年末まで今の状況が続くと資金繰りが心配	398	41.3%
今年8月までは資金繰りの心配なし	309	32.1%
既に、資金繰りがひっ迫	161	16.7%
日本政策金融公庫の「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を既に受けた	130	13.5%
民間金融機関からの融資を既に受けた	128	13.3%
合計	963	100.0%

6. 制度・政策要望

事業継続のための支援策を求める切実な声が寄せられています。

制度・政策要望	有効回答数 (複数回答)	割合
事業者の税負担の軽減	627	62.1%
値上がり分に対する国の補助金 (消費者向け)	499	49.5%
国による関係団体・事業者への流通等改善に向けた指導・支援	452	44.8%
事業復活支援金の拡充・延長	406	40.2%
無利息・無担保の事業資金の融資の実施	341	33.8%
その他	24	2.4%
合計	1,009	100.0%



仲間の声

- 資材高騰により受注件数の減少が心配。工務店・エンドユーザへの支援策が必要。
- コロナの影響で大口のリフォームが先延ばし、中止になっている。新築は基本、断っている。
- 商品の遅延が続く中での補助金（こどもみらい住宅支援事業など）は制度を延長してほしい。
- 建築主への金利減、補助金支援、住宅ローン減税など。お得感につながるような家を建てるメリットを増やしてほしい。
- 先日、ある建築資材会社の倉庫に行くことがあり、そこに給湯器が数十台あった。聞いてみると規模の大きな建設会社に搬入するそうです。町場の小さな工務店は後回しにされ、建築資材各メーカーも大量注文している会社が優先されているのかと悲しくなってしまう。
- いつまでこの状態が続き見通しが見えないのが不安。スピーディーな施策が欲しい。
- トリガー条項の発動、国産木材の安定供給が必要。
- ウッドショック等の問題の見通しが付いていない状態で、ウクライナ侵攻が発生し、さらに外材に影響が出ている。必要な経費、燃料費の上昇を抑えてほしい。事業の税負担の軽減を早期に行ってほしい。
- 木材の高騰、設備の納期遅れが大きく影響しており、支払いが先行するこの業界では資金繰りが難しい。国の支援策に期待したい。
- いまは廃業も視野に入れている。
- 消費税がとにかく厳しい。
- 海外に依存しない、国内で対応できるようにしてほしい。